

加法と減法・単元のまとめ

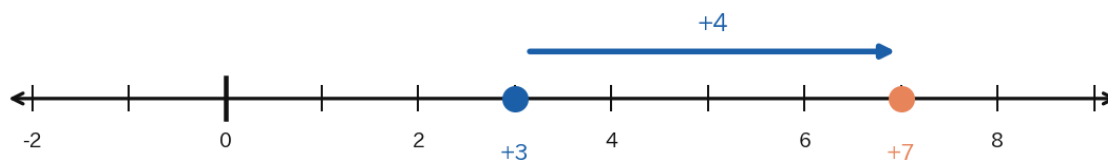
中学1年 数学

単元のまとめ — 加法と減法

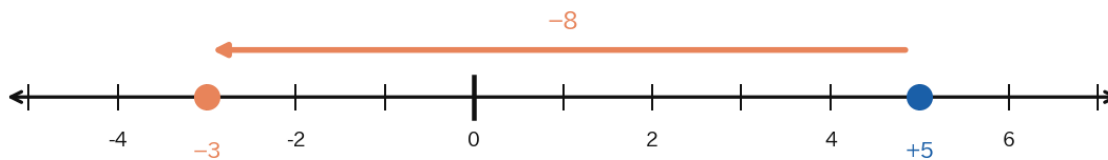
用語・ルール	内容
同符号の加法	絶対値の和に、共通の符号をつける 例： $(+3)+(+5) = +8$ $(-4)+(-2) = -6$
異符号の加法	絶対値の差に、絶対値が大きい方の符号をつける 例： $(+7)+(-3) = +4$ $(-5)+(+2) = -3$
加法の法則	交換法則： $a + b = b + a$ 結合法則： $(a + b) + c = a + (b + c)$
減法	引く数の符号を変えて、加法に直す $a - b = a + (-b)$ (+)を引く → (-)を足す (-)を引く → (+)を足す
加減の混合	すべてを加法に直してから、正の項どうし・負の項どうしをまとめると速い 例： $3 - 7 + 5 - 2 = (3+5) + (-7-2) = 8 - 9 = -1$

数直線で見える加法のイメージ

同符号の加法： $(+3) + (+4) = +7$ → 右（正方向）へ4動く



異符号の加法： $(+5) + (-8) = -3$ → 左（負方向）へ8動く



減法 → 加法への変換ルール

【減法のルール】 $a - b = a + (-b)$

「引く数の符号を変えて、加法に直す」

$$\begin{aligned} & (+5) - (+3) \\ & = (+5) + (-3) \\ & \quad = +2 \\ & \text{(+)を引く} \rightarrow \text{(-)を足す} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (-4) - (+7) \\ & = (-4) + (-7) \\ & \quad = -11 \\ & \text{(+)を引く} \rightarrow \text{(-)を足す} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (+2) - (-6) \\ & = (+2) + (+6) \\ & \quad = +8 \\ & \text{(-)を引く} \rightarrow \text{(+)を足す} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (-3) - (-9) \\ & = (-3) + (+9) \\ & \quad = +6 \\ & \text{(-)を引く} \rightarrow \text{(+)を足す} \end{aligned}$$

よくあるミス

- ・ 異符号の加法では「絶対値の大きい方の符号」が答えの符号。例: $-7 + 3 = -4$ ($|-7| = 7 > |3| = 3$ なので答えは $-$)
- ・ 減法は必ず「加法」に直してから計算する。引く記号 $(-)$ が消えることを確認!
- ・ 加減の混合: 先に正の項どうし・負の項どうしを合計してから引き算すると間違えにくい。

加法と減法・練習問題

中学1年 数学

練習問題

名前

日付

月 日

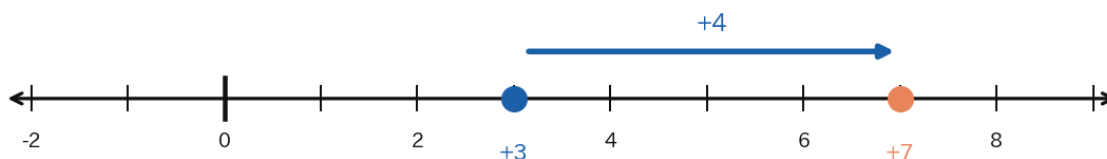
問1

☆☆☆

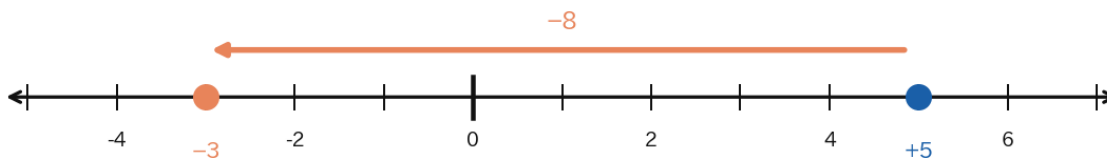
次の計算をなさい（同符号の加法）。

- ① $(+4) + (+7)$
- ② $(-5) + (-3)$
- ③ $(-0.6) + (-1.4)$

同符号の加法： $(+3) + (+4) = +7$ → 右（正方向）へ4動く



異符号の加法： $(+5) + (-8) = -3$ → 左（負方向）へ8動く



※ 同符号どうしの加法：絶対値を足して、元の符号をつけるだけ。

答え：

問2

☆☆☆

次の計算をなさい（異符号の加法）。

- ① $(+8) + (-3)$
- ② $(-7) + (+4)$
- ③ $(+2) + (-9)$

※ どちらの符号になるか → 絶対値が大きい方の符号！

答え：

問3

☆☆☆

次の計算を「加法」に直してから計算しなさい。

- ① $(+6) - (+4)$
- ② $(+3) - (-5)$
- ③ $(-2) - (-8)$
- ④ $(-9) - (+4)$

【減法のルール】 $a - b = a + (-b)$
「引く数の符号を変えて、加法に直す」

$\begin{aligned} & (+5) - (+3) \\ & = (+5) + (-3) \\ & \quad \quad \quad = +2 \\ & \text{(+)を引く} \rightarrow \text{(-)を足す} \end{aligned}$	$\begin{aligned} & (-4) - (+7) \\ & = (-4) + (-7) \\ & \quad \quad \quad = -11 \\ & \text{(+)を引く} \rightarrow \text{(-)を足す} \end{aligned}$
$\begin{aligned} & (+2) - (-6) \\ & = (+2) + (+6) \\ & \quad \quad \quad = +8 \\ & \text{(-)を引く} \rightarrow \text{(+)を足す} \end{aligned}$	$\begin{aligned} & (-3) - (-9) \\ & = (-3) + (+9) \\ & \quad \quad \quad = +6 \\ & \text{(-)を引く} \rightarrow \text{(+)を足す} \end{aligned}$

※ (+)を引く \rightarrow (-)を足す (-)を引く \rightarrow (+)を足す

答え：

問4

☆☆☆

次の計算をしなさい。

- ① $0 - (+5)$
- ② $0 + (-7)$
- ③ $-3 - 0$
- ④ $(+4) + (-4)$

※ $a + (-a) = 0$ 絶対値が同じで符号が逆の数どうしの和は必ず 0。

答え：

問5

☆☆☆

かっこをはずして計算しなさい。

① $(+7) + (-3) - (-5) + (-2)$

② $(-8) - (-4) + (-6) - (+3)$

※ かっこをはずした後、正の項どうし・負の項どうしをまとめると計算が速い。

答え：

問6

★★☆

次の計算をなさい（正の項・負の項をまとめる方法で）。

① $4 - 9 + 6 - 1$

② $-5 + 12 - 7 + 3 - 8$

※ 「正の項の和」から「負の項の和」を引けば答えが出る。

答え：

問7

★★☆

次の計算をなさい。

① $(-1.5) + (+2.8)$

② $(+0.4) - (-1.6)$

③ $(-\frac{1}{4}) + (\frac{3}{4})$

※ 分数の加減は通分してから。小数はそのまま絶対値で計算してから符号をつける。

答え：

問8

★★☆

ある日の朝の気温は -4°C でした。昼に $+9^{\circ}\text{C}$ 上がり、夜に -7°C 変化しました。

① 昼の気温を求めなさい。

② 夜の気温を求めなさい。

※ 「上がる」→正、「下がる」→負として式を立てる。

答え：

問9

★★☆

交換法則・結合法則を使って、くふうして計算しなさい。

① $(+17) + (-35) + (-17) + (+35)$

② $(-46) + (+29) + (+46) + (-29)$

※ 絶対値が等しく符号が逆の組を先に探すと一瞬で計算できる。

答え：

問10

★★★

次の問いに答えなさい。

① ある整数 a に -6 を加えると $+2$ になります。 a を求めなさい。

② ある整数 b から -4 を引くと -3 になります。 b を求めなさい。

③ ①, ②で求めた a と b の和を求めなさい。

※ 逆算: 「加えた」の逆は「引く」、「引いた」の逆は「加える」。

答え：

加法と減法・解答

中学1年 数学

解答

① ① +11 ② -8 ③ -2

解説 同符号 → 絶対値の和に共通の符号

- ① $4+7=11 \rightarrow +11$
 ② $5+3=8 \rightarrow -8$
 ③ $0.6+1.4=2 \rightarrow -2$

② ① +5 ② -3 ③ -7

解説 異符号 → 絶対値の差に、絶対値が大きい方の符号

- ① $|+8|-|-3| = 5, 8 > 3 \rightarrow + \rightarrow +5$
 ② $|-7|-|+4| = 3, 7 > 4 \rightarrow - \rightarrow -3$
 ③ $|+2|-|-9| = 7, 9 > 2 \rightarrow - \rightarrow -7$

③ ① +2 ② +8 ③ +6 ④ -13

解説 引く数の符号を逆にして加法に直す

- ① $(+6)+(-4)=+2$
 ② $(+3)+(+5)=+8$
 ③ $(-2)+(+8)=+6$
 ④ $(-9)+(-4)=-13$

④ ① -5 ② -7 ③ -3 ④ 0

解説 ① $0+(-5)=-5$
 ② そのまま-7
 ③ $-3+0=-3$
 ④ 絶対値が等しく符号が逆 → 和は 0 (逆数の加法)

⑤ ① +7 ② -13

解説 加法に直してかっこをはずす

- ① $7 - 3 + 5 - 2 = (7+5) + (-3-2) = 12 - 5 = 7$
 ② $-8 + 4 - 6 - 3 = 4 + (-8-6-3) = 4 - 17 = -13$

⑥ ① 0 ② -5

解説	① 正の項： $4+6=10$ ，負の項： $9+1=10$ ， $10-10=0$ ② 正の項： $12+3=15$ ，負の項： $5+7+8=20$ ， $15-20=-5$
----	--

⑦	① $+1.3$ ② $+2.0$ ③ $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$
---	---

解説	① 異符号： $2.8-1.5=1.3$ ， $2.8>1.5 \rightarrow +1.3$ ② $(0.4)+(1.6)=2.0$ ③ 分母が共通： $\frac{-1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{-1+3}{4} = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$
----	--

⑧	① $+5^{\circ}\text{C}$ ② -2°C
---	---

解説	① $-4+(+9) = 5 \rightarrow +5^{\circ}\text{C}$ ② $5+(-7) = -2 \rightarrow -2^{\circ}\text{C}$ (または $-4+9-7 = -2$ で一気に計算も可)
----	--

⑨	① 0 ② 0
---	-------------

解説	① $(+17)+(-17) = 0$ ， $(-35)+(35) = 0 \rightarrow 0+0=0$ ② $(-46)+(46) = 0$ ， $(+29)+(-29) = 0 \rightarrow 0+0=0$ 互いに打ち消し合うペアを先に見つける！
----	---

⑩	① $a = 8$ ② $b = -7$ ③ $a + b = 1$
---	------------------------------------

解説	① $a + (-6) = 2 \rightarrow a = 2 - (-6) = 2 + 6 = 8$ ② $b - (-4) = -3 \rightarrow b = -3 + (-4) = -7$ ③ $8 + (-7) = 1$
----	---

特進アカデミー 中学1年 数学プリント

加法と減法・プロンプト集

中学1年 数学

このプリントが終わったら、自分に合うプロンプトを使ってみよう。

どのプロンプトを使う？

こんな人へ	使うプロンプト
全問正解できた人へ	「類題」プロンプトで少し難しい問題に挑戦しよう
間違いが2問以上あった人へ	「復習」プロンプトで符号の扱いを確認しよう
もっと深めたい人へ	「発展」プロンプトで加減を日常場面と結びつけよう

加法と減法 プロンプト集

ChatGPT・Claude・Gemini どれでも使えます。そのままコピーして入力しよう。

① 復習

加法と減法の計算で間違えた問題を、中学1年生にわかるように説明してください。

特に次の2点を重点的に教えてください：

- ・異符号の加法で「どちらの符号になるか」の判断方法
- ・減法を加法に直すとき「符号を変える」操作の意味

② 類題

加法と減法の問題を3問作ってください（中学1年・基礎～標準）。

- ・1問目：異符号の加法（小数あり）
- ・2問目：かっこをはずした加減の混合（4～5項）
- ・3問目：気温・海拔などを使った文章問題

答えと丁寧な解説を付けてください。

③ 発展

正負の加法・減法が使われる日常場面を「気温・家計・標高・スポーツの得失点差」

の4つで説明し、それぞれ1問ずつ問題を作ってください。

数直線のイメージも使いながら解き方を説明してください。

わからない言葉が出てきたら「もっとやさしく説明して」と続けて入力しよう。